



下田市議会だより

9月
令和5年
(2023)
No.87



下田市議会・沼田市議会
姉妹都市交流会



- P 1 新庁舎移転後における議場等のあり方に係る要望書を提出
- P 2 5月臨時会・6月定例会総括
- P 3 総務文教委員会審査報告
- P 4 産業厚生委員会審査報告
- P 5~7 市政を問う一般質問
- P 8 会派の紹介
- P 9 議案等の審議結果

「沼田市・下田市姉妹都市交流」

(群馬県沼田市)

「新庁舎移転後における議場等のあり方に係る要望書」を市長に提出

来年度に予定されている新庁舎への一部先行移転に向け、議場や委員会室等における諸機能、各種設備等のあり方を早急に決定する必要があることから、議会運営委員会を主体として、これらに係る検討を行いました。

この検討結果を踏まえ、今後の設計への反映や必要予算の確保について、中村敦議長及び沢登英信議会運営委員長から、市長に要望書を提出しました。

要望書の概要は以下のとおりです。



【令和5年6月29日 市長室にて】

重点事項

- ①環境意識を持ち、経費節減も念頭に置き、リユース、リサイクルを可能なかぎり行うこと。
- ②旧校舎活用棟であるからこそ、ユニバーサルデザインへの配慮を怠らず、誰しもが不自由なく参加できる議会を目指すこと。
- ③未来志向を持って、将来のDX化ひいては開かれた議会の実現を目指すとともに、多目的使用にも配慮した設備とすること。

要望事項

【議場施設】

①全体事項

- ◇議場、傍聴席、委員会室等への廊下からの入り口に段差が生じない処置を施すこと。
- ◇難聴者の方が聞き取りやすい施設とすること。

②市民に開かれた議場の整備

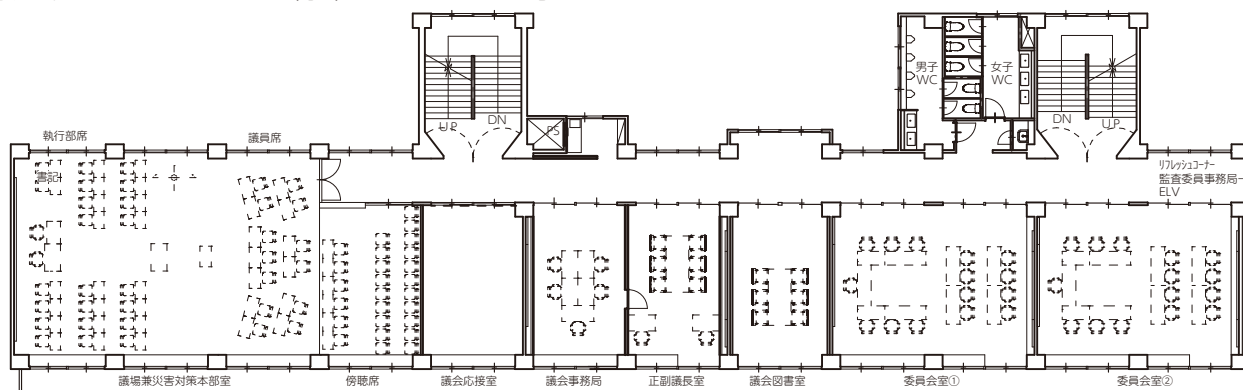
- ◇議員、当局共に、車椅子対応が可能となるよう、柔軟な配列とすること。
- ◇可動式の机・椅子に加え、演台の配置位置にも対応しうる多角的に撮影可能なカメラ設備、カメラ配置とすること。
- ◇ロビー等で議会を視聴できる中継システムを導入すること。なお、将来のYouTube等で

の一般向けライブ配信も念頭におくこと。

- ◇上記を包摂した議会運営システムの導入を図ること。質問時間の残時間表示対応や議事録作成委託の合理化に結びつけられるようすること。

【その他諸事項】

- ◇議長室・副議長室の机・椅子など再利用可能なものは活用すること。
- ◇移転に際し、ペーパーレス化を進めること。また、タブレット端末対応可能な電源を十分に確保すること。
- ◇議会諸室へのWi-fi環境を整備すること。



【4階（議会諸室）平面図（改修後）】

□ 5月臨時会総括

会期を5月11日のみの1日間とし、選挙後初めての議会であるため、議長・副議長選挙及び各委員会委員の選任、各一部事務組合議会議員選挙が行われました。議案は発議による条例1件、専決3件、人事1件の議案が上程されました。

□ 6月定例会総括

会期を6月21日から6月29日までの9日間とし、条例5件、補正予算2件、報告1件、専決1件、人事1件、契約1件、その他1件の議案が上程されました。なお、契約議案1件は、新庁舎整備工事（旧校舎活用棟）について、制限付き一般競争入札の結果、河津・土屋・加藤特定建設工事共同企業体と5億8,850万円で請負契約を締結することを議決しました。

その他、下田市議会議長の中村議員が立候補する静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選

挙の投票が行われ、一般質問では9名の議員が、市政全般の課題等22件をテーマに登壇し、市政を問いました。

※
なお、本定例会における各派代表者会議で、6件の意見書提出について協議しましたが、全会派一致とならず、意見書の提出は全て見送りとなりました。

新たな議員構成でむかえる最初の定例会でありましたが、各議員は議会運営の規則等に基づき、様々な知見で活発な議論を行いました。最終日には、両常任委員長より閉会中の継続調査申出書を議長に提出しました。令和6年3月31日までを調査期間とし、議会閉会中も両常任委員会が所管事項を調査し、市政の改善に取り組んでいくこととしました。

※各派代表者会議：議長・副議長、会派の代表者等が、議会の方針等協議または調整を行うために開催する会議のことをいいます。

沢登英信議員が全国市議会議長会から特別表彰

6月定例会初日の一般質問に先立ち、全国市議会議長会から表彰された沢登英信議員に、その伝達式が行われました。

沢登議員は平成15年4月に下田市議会議員選挙に初当選以来、現在6期目で、20年の永きにわたって市政の発展に尽くされ、その功績は著しいとして、第99回全国市議会議長会定期総会で特別表彰を授与されました。

【沢登議員の受彰挨拶から】

議員、市民の皆様にご感謝申し上げます。20年間、福祉のまちづくりを掲げて議員活動をしてきました。皆さんとご一緒に、いつまでも住み続けることのできる、より良い下田を創るため、これからも努力します。



監査委員の選任



前監査委員の任期満了に伴い、議員のうちから選任される監査委員に、大賀茂在住の渡邊照志議員が選任されました。

渡邊議員は、平成31年4月に下田市議会議員選挙に初当選以来、現在2期目で、総務文教常任委員会副委員長、議会運営委員会副委員長、決算審査特別委員会委員長を歴任されており、監査委員に適任であるとして当局から提案されたもので、議会はこれに賛成多数で同意しました。

【渡邊議員のコメント】

監査委員の職務の重要性を十分認識し、これまでの議員としての経験を活かしつつ、今後とも研鑽に努め、公正不偏の立場で使命感と責任感をもって職務を遂行してまいりたいと思います。



総務文教委員会所管の主な補正予算項目を紹介します。



新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

交付金を活用し、エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受けた方に対する支援を行います。

価格高騰重点支援給付事業（電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金 9,900万円）

令和5年度住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり30,000円を交付します。

子育て世帯応援給付事業（子育て応援給付金 6,300万円）

高校生以下（18歳以下）の子どもを養育する保護者等に対し、子ども一人当たり30,000円を交付します。

防犯対策事業（地区防犯灯整備事業補助金 3,500万円）

行政区等が所有する既存の防犯灯のLED化に対し1基当たり50,000円の補助金を交付します。

自治総合センターコミュニティ助成金補助金活用事業

宝くじの収益を財源とした交付金を活用し、補助金交付等の事業を行います。

地域振興事業（250万円）

大賀茂区の祭典用備品購入に対して補助金を交付します。

防災組織育成事業（80万円）

弥七喜区の小型可搬ポンプ購入に対して補助金を交付します。

図書館管理運営事業（529万2千円）

学校や市内各所を訪問する移動図書館事業のため、約500冊の図書を収容できる、軽トラックを改装した移動図書館車を購入します。



消防費

消防団活動推進事業（消防団員新活動服の購入 484万6千円）

消防団員の夜間の活動を考慮し、前面及び背面に反射材がプリントされた活動服を購入します。

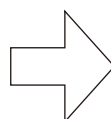
消防施設整備事業（消防団車両の更新 ▲330万円 2,300万円→1,970万円）



当初予算では、第2分団第2部の軽積載車及び火災により廃車となった第7分団第1部の積載車の2台を更新する予定でしたが、河津町で不用となった積載車の譲渡を受け、第7分団第1部に配備することにより、経費削減が見込まれるため、第5分団第1部の軽積載車を加え、3台を更新します。



当初購入予定	予算額
第2分団第2部 軽積載車	900万円
第7分団第1部 積載車	1,400万円
合計	2,300万円



補正後購入予定	予算額
第2分団第2部 軽積載車	930万円
第7分団第1部 積載車	110万円
第5分団第1部 軽積載車	930万円
合計	1,970万円



産業厚生委員会所管の主な補正予算項目等を紹介します。



条例改正 下田市印鑑条例の一部を改正する条例の制定

これまで、マイナンバーカードを使用しコンビニエンスストア等の多機能端末機に必要な事項を入力する事により印鑑登録証明書の交付を申請し交付を受けることが出来ていましたが、条例改正後はマイナンバーカードに加え、マイナンバーカードと同等の機能を持った電子証明書を搭載したスマートフォンでも多機能端末機に必要な事項を入力する事により、印鑑登録証明書の交付を申請し交付を受けることが出来るようになります。



商工業振興 商店街環境整備事業（価格高騰重点支援分）325万6千円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使って商店街の街路灯をLED化する事により高騰する電気料金の負担軽減を図り、商店街の活性化を図ります。

商工業振興 空き店舗等活用創業支援事業 移住・交流居住推進事業 200万円



空き店舗の利用を通じてまちの賑わいを想像し、地域経済の発展に資するため、空き店舗を利用して出店する事業に対し、店舗改修費、広告宣伝費の2分の1（上限50万円）を補助する事業です。

出店者増加のため増額となりました。

観光まちづくり 下田伝統芸能を未来へつなげる移住定住プロジェクト 200万円

移住者等を対象とした伝統芸能体験イベントを開催し、下田伝統芸能の魅力を伝えるとともに、伝統芸能を通じた移住、定住の促進、伝統芸能の継承にも繋げることを目的とし、一般財団法人から200万円の補助金を受けて事業を行います。

事業内容は、日本舞踊の花柳流の師範を講師として招き、全4回の開催を通して移住者や地元民との交流を図りつつ、下田伝統芸能である「下田節」、「お吉踊り」の成り立ちや歴史を学び、実際に舞踊を体験します。

参加が移住希望者であった場合には希望により市の移住定住支援サポーター等と協力して移住相談を実施します。



河川維持 河川緊急浚渫工事 2,300万円



河川に堆積した土砂を取り除くことで河川の流量が確保され、大雨の際などに氾濫を防ぐ事を目的として行います。

工事対象河川は、里川（落合）、大浜川（吉佐美）、下条川（白浜）です。

市政を問う一般質問



下田市役所ホームページから「一般質問」で検索していただくと各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。

一般質問

検索



沢登英信 議員



【動画】

- ①白浜大浜海水浴場の健全かつ安全な運営のために
- ②広域ごみ処理施設整備基本計画について
- ③学校給食の無償化について



【会議録】



②広域ごみ処理施設整備基本計画について（官製談合か？）

- 1) 建築基準法第51条では「ごみ焼却場の用途に供する建築物は、都市計画においてその敷地の位置が決定しているものでなければ、新築し、又は増築してはならない。」とされている。したがって、中学校や認定こども園、住宅地に煙がたなびく敷根に都市計画上清掃工場を建築すべきものかどうか問われることになる。
- 2) 工期を2年延長して令和7～13年度の7年間

とし、耐用年数は20年間とする理由は何か。働き方改革による人員不足と国の補助金が底をつき繰り延べということでは建設を考え直すべきです。

- 3) 令和2年3月の5社見積平均では建設費は69トン炉で100億2,350万円であったものが、令和5年3月の基本計画では54トン炉で128億3,590万円と見積られ、同年同月のPFI等導入可能性調査業務では、4社がアンケートに応じ、一番安い業者が133億4,300万円としています。調査の名で1社に絞られており、官製談合の疑いがもたれます。

長友くに 議員



【動画】

- ①南伊豆地域広域ごみ処理計画の理念を問う～「プラスチック世紀」を終わらせるために～
- ②公民館廃止後の活用について～少子高齢化社会を豊かに生き抜くために～



【会議録】



①廃棄プラスチックは生態系に影響を与えている。これを作らない・使わない・廃棄しないという生活の変化が大事。またプラスチックは燃やすと猛毒のダイオキシンが発生。西伊豆・松崎・南伊豆からのゴミまで下田で引き受けるのか？「キエーロ」などを使って生ごみを減らし、ゴミを燃やす時代を終わらせる必要がある。

- ②これからの時代を豊かに生きて行くために必要なことは何か？

- 1) 共感力 相手のことを思いやりその思考や行動を想像する力。
- 2) 共生力 移住してくる人、古家を買う外国人も増えた。価値観の違いを乗り越えて共に生きていく「共生力」が必要。
- 3) 共働（協同）力 地域に住む人が力をあわせてコミュニティを作っていく必要。そういう、人々の集まりの核として公民館は必要不可欠ではないか。

江田邦明 議員



【動画】

- ①児童・生徒の通学路安全確保について
- ②伊豆中央道・修善寺道路の無料化延期化等、道路行政への考え方について



【会議録】



①令和3年6月に千葉県八街市で下校中の小学生の列にトラックが衝突し、5人が死傷する交通事故が発生しました。下田市においても、小・中学生が日常的に集団で移動する経路に関し、道路管理者や教育委員会、警察等の関係者が連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策を実施しています。通学路の安全対策を着実に推進するため、■本郷交差点の整備や■自転車走行空間の整備、■通学路ブロック塀の安全対策等について質問し

ました。
②伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限を40年程度延長することは、伊豆半島南部にとって大きなマイナス要因であることから、■下田市として料金徴収期間の延長に賛成か反対か、■県の道路行政に対する考え方や要望、今後の対応方針について質問しました。また関連して、■中島橋交差点付近の渋滞解消や■静浦バイパスの早期全線開通、■国道・県道の整備に対する考え方についても質問しました。

柏谷 祐也 議員



【動画】



発達障害とは先天的なさまざまな要因によって、自閉症スペクトラムや学習障害、注意欠陥多動性障害などの総称で、この10年で確実に発達障害の子どもは増えています。にもかかわらず、特別支援教育の一環である通級指導教室は数少なく、自校通級と他校通級では、保護者の負担が多く、通級指導を断念される方の声が届いています。

また、積極的に発達障害への支援を行おうとしている行政に対し、教育の最前線である教室、特

特別支援教育について



【会議録】

に通常学級においては、教員がマニュアル通りに動くのは非常に難しいです。子どもに寄り添った「合理的配慮」という概念自体、学校側も教員も未だ理解が不十分なので、より一層障害に対する十分な理解と適切な対応を行っていただきたい。そのために、今後の通級指導教室の活用方法、教職員の育成や、資質向上についての方針を伺い、誰一人残すことなく市内すべての子供たちが充実した教育環境で学べるよう、実施可能なことから取り組みを要望いたしました。

鈴木 孝 議員



【動画】



令和3年3月 第5次下田市総合計画の中で、「まちの将来像」として、時代の流れを力に・つながる下田・新しい未来の3点が示されました。

下田市の広報及び、移住・定住・観光・企業誘致などを促進・活性化するためのシティプロモーションのためにも下田市の理念としての「まちの将来像」をしっかりと示し関連付けて発信する必要があるのではないのでしょうか。

令和5年度の重点施策である、新庁舎等建設、

下田市の広報、プロモーション力強化について



【会議録】

グローバルCITYプロジェクト、広域ゴミ処理施設整備などの事業も「まちの将来像」を理念として進められていると思いますが、根底にある理念が伝わっていないと感じられます。

また今後は文章だけでなくSNS、特に動画を使った広報、シティプロモーションが、必要と感じます。下田市は今後どの様に進めていくのかを伺いました。

天野 美香 議員



【動画】



①子育て世代の8割以上が就労され育児・家事・介護をされる中、現状の放課後児童クラブの活用を更に、時間に追われることなく安心して余裕を持った子育てができるよう、お迎え時の時間延長および長期休暇の開始時間の調整について可能であるか質問しました。

②近年、英語教育において国・保護者の意識が高まる中、開国の町下田市は他国の方々とふれ合う機会も多く、英語に慣れ親しむ環境作りと共

- ①放課後児童クラブ時間延長
- ②幼児英語教育
- ③高校生通学補助



【会議録】

に、文化を学ぶことの視点から早期取り組みとして幼児からの英語教育が可能であるか質問しました。

③高等学校就学支援金制度により授業料は実質無償であるが、子育てする中においては授業料以外の経費が必要である。居場所となる学校へ通う為の通学費は場所により金額の差があり、教育の機会均等の保証の必要を求め通学補助について質問しました。



スマートフォンでQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。



浜岡 孝 議員



【動画】



【会議録】



①観光振興、旧町内を中心とする市街地の活性化を図るため「みなとまちゾーン活性化基本計画」に則った街づくりを速やかに推進すべき。特に旧下田ドック跡地周辺と大川端の整備・開発を優先的に取り組むべきと訴求しました。

②現在の下田市における医療提供体制についての市当局の評価と、これからの取り組みについて問い、下田メディカル・センターの機能強化を図ること、在宅・訪問医療や訪問看護の取組

- ①下田港と中心市街地からなるみなとまちゾーンの整備・開発
- ②質の高い医療サービスの提供に向けた取り組み
- ③地域社会の維持・活性化に向けた集落支援員の設置

みを進めることを訴求しました。

③「地域おこし協力隊」と同様に総務省が推進している「集落支援員」制度を導入することを提案しました。過疎地域における集落対策として設けられているこの制度は、特別交付税として財政措置される仕組みで自治体が費用負担することはなく、集落の活性化に資するこの制度を直ぐにでも導入すべきと訴求しました。

岡崎大五 議員



【動画】



【会議録】



①グローバルCITYプロジェクトで、インターナショナルスクールを誘致することで、教育産業の育成に力を注いでほしい。観光と並ぶ下田の二大産

業となる可能性がある。

②ビーチの通年化利用が進めば、経営と雇用が安定し、若年層や移住者の就職先確保につながる。グローバルCITYプロジェクトの中で、積極的に推進してほしい。

③空き家、移住相談窓口の一本化が、利用者の利

- ①インターナショナルスクールの誘致
- ②ビーチの通年化利用
- ③空き家、移住相談の窓口の1本化
- ④稲生沢公民館の利活用
- ⑤マイマイ通りの電話ボックス

便性につながり、人口減対策になる。

④稲生沢公民館は廃止が決まっているものの、新庁舎内の代替施設ができるまでは、今まで通り利活用を続けることが、市民のために必要である。

⑤いったん撤去が決まったマイマイ通りの電話ボックスだが、近隣住民の要望から、保存に向けた手続きが進められている。市民の声を受け入れた好ましい行政対応である。

土屋 仁 議員



【動画】



【会議録】



①夏期海岸対策協議会について

白浜の海の有効活用、海岸での社会貢献活動を目的に5月末に設立された、白浜OCEAN管理機構が夏期海岸対策協議会

原田支部の運営を担うことについて、地元の熱意、自主的な活動を市としても支援して行くべきではないか、また、昨年度初めて実施した、白浜大浜海水浴場での民間警備について、市との連携、昨年度の課題を検証した警備のあり方について質問しました。

- ①夏期海岸対策協議会について
- ②教育環境整備について

②教育環境整備について

小学校の普通教室のエアコンは、100%整備済みですが、図書室、理科室、音楽室等の特別教室へのエアコンは殆ど設置されていないため、使用頻度の高い特別教室へのエアコン設置について計画的な整備を求めました。また、国の「第6次学校図書館図書整備等5か年計画」に基づき、学校図書館司書を現在の2人体制から1人増員し、児童・生徒の読書環境、読書意欲の向上に努めるように求めました。



スマートフォンでQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。

議会内会派の紹介

4月の議員改選により、下田市議会内に5つの会派が結成されました。各会派の代表者に、会派の紹介、結成の理由・趣旨等を伺いました。

日本共産党

◎沢登 英信（1人）

※◎会派代表者

昭和46年の市政施行時、共産党市議団として小林弘次（10期）、土屋実（5期）が活動し、革新池谷市政を支えてまいりました。大沢産廃問題、水道水源保護条例、下水道事業や海水浴場条例、保育所、学校建設などの課題に取り組みました。

現在は沢登英信（6期目）が、大規模太陽光発電開発事業を規制する条例の制定、コロナ対策、一市三町の広域ごみ工場建設の見直しを求めるなど、平和都市下田の建設と人が大切にされる福祉のまちづくりを掲げて活動しています。

緑のしもだ

◎長友 くに（1人）

現代の世界は、人間の行き過ぎた活動による不都合が各地で起こっています。ここ下田でも磯焼けが起こり、海藻の収穫がやせ細り、イセエビ・貝類の不漁などが問題になっています。また大量消費の結果のごみ処分も問題です。

このように地球環境から身近なごみ問題までを取り上げ、どうしたら自然環境にやさしく、再生可能な社会を築けるのかを探っていきたいと思っています。同じ思いの方募集中。

会報「みどりの下田」創刊号発行。環境政党「緑の党」会員。

市 政 会

◎江田 邦明 ○天野 美香 ○岡崎 大五（3人）

「市民の、市民による、市民のための政治」を志とする議員をもって組織しています。理念は、「心豊かな下田の未来を創るため協働し、市民の皆様と共にある政治活動に取り組むこと」です。

目的とその活動は、互いの意思を尊重し、その活動を支援すると共に、議会運営及び政策提言のための調査研究、市政課題に関する情報収集等を行うことで、市民生活の向上に努めます。また、「わくわくミーティング」等での市民との相互交流を通じて、皆様の声を議会並びに行政に反映させて行きます。

『小さなことからコツコツと』皆様のご要望をお待ちしています。

清 新 会

◎渡邊 照志 ○中村 敦 ○楠山 俊介 ○土屋 仁
○浜岡 孝 ○大西 將由 ○柏谷 祐也（7人）

超党派の7名（現職2名・新人5名）で結成された会です。政党にこだわらず、7議員一人ひとりが民意を反映させることを念頭に、市民の皆様の意見に対し真摯に取り組み議論し、また議会での案件にも是々非々の判断、それぞれの意見を尊重し合いながら、市民の皆様と当局に対し、より良い回答を示す事を目的としています。

下田市においては人口減少、少子高齢化、新庁舎建設、南伊豆広域ごみ処理計画等、様々な問題が山積しています。市民の皆様と共に協働事業として取り組んで行きましょう。

公 明

◎鈴木 孝（1人）

立党精神である「大衆とともに」を胸に、一人ひとりの声に耳を傾け

- 一、子育て支援の充実
 - 一、若者が希望を持てる社会の構築
 - 一、障がい者・高齢者にやさしいまちづくり
- を目指し、政策を推進します。





令和5年 5月臨時会・6月定例会 審議結果

Table with 3 columns: 番号, 議案件名, 審議結果. Contains 38 items of council resolutions and their outcomes.

《賛否の分かれた議案》

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：退席)

Table with 12 columns (議員名) and 2 rows of resolutions (議第29号, 議第30号) showing voting results.

※議長（中村 敦）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

表紙写真情報

「沼田市・下田市姉妹都市交流」



8月3～4日、沼田まつりに合わせて、下田市から市長、議長及び議員5名が訪問しました。令和元年以来4年ぶりです。

沼田市の新庁舎「TERRACE沼田」の視察のほか、沼田まつりにも参加し、市民の皆様との交流も行われました。約100人の女性が担ぐ「天狗みこし」は圧巻で、上州の女性のパワーを感じました。

編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられてから、初めての夏を迎え、須崎、柿崎地区や旧町内では盛大に夏祭りが開催されました。

6月定例会市議会では、新庁舎整備工事（旧校舎活用棟）の契約議案が全会一致で原案が可決され、7月25日には、安全祈願祭が執り行われ、いよいよ着工の運びとなりました。令和8年の竣工に向けての予算、条例改正等についても市民の皆様にはわかりやすくお伝えしてまいります。

(土)

下田市議会の活動に役立てるため、市民の皆様の声を電話・メール・FAXで右記（欄外記載の連絡先）までお寄せください。



- この広報誌は、ユニバーサルデザインをコンセプトに開発された可読性・視認性・判別性に優れたUDフォントを使用しています。●
●この広報誌は、再生紙を使用しています。●

発行 下田市議会
編集 広報委員会
住所 下田市東本郷一丁目5番18号

TEL 0558-22-2220
FAX 0558-27-1511
E-mail: gkajimu@city.shimoda.lg.jp

広報委員会
委員長 鈴木 孝
副委員長 土屋 仁
委員 天野美香 岡崎大五 江田邦明

議会HP

